

平成30年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業 ボランティア養成研修

- 1 趣 旨 青少年教育施設の役割を理解するとともに、野外活動等の指導・支援ができるボランティア及び指導者の養成・確保を図る。受講後は「法人ボランティア」として登録され、全国の国立青少年交流の家・自然の家及び国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）において活動を行うことができる。また、「ボランティア養成共通カリキュラム」と、「自然体験活動指導者（NEALリーダー）」の科目履修互換制度事業を実施する。
- 2 期 日 平成30年6月9日（土）～10日（日） 1泊2日
- 3 対象者 高校生・大学生・一般（15歳以上、短大・専門学校生を含む）
- 4 募集定員 40人程度
- 5 参加者 27人（高校生14人、大学生8人、社会人5人）
- 6 指導者 NEAL養成講習会主任講師 アウトドアショップキャメル 江口 智昭 氏
鹿児島大学総合教育機構共通教育センター体育・健康教育部門准教授 福満 博隆 氏
垂水市消防本部、国立大隅青少年自然の家職員、ボランティア3人

7 日程と主な活動

6月9日（土）	6月10日（日）
9:30 受付	6:00 起床・寝具整理・清掃
10:00 開講式・ガイダンス	7:00 朝のつどい
10:30 講義1「ボランティア活動の意義」	7:30 朝食（レストラン食）
12:00 昼食（各自持参）	9:00 実習2「自然体験活動の安全管理」
13:00 講義2「青少年教育における体験活動」	12:00 昼食（レストラン食）
14:30 講義3「青少年教育施設の現状と運営」	13:00 講義4「青少年教育施設におけるボランティア活動」
16:30 実習1「自然体験活動の技術」（夕食づくり）	14:00 講義5「熱中症と脱水症における経口保水療法のすすめ」
20:30 入浴・就寝	14:30 講義4「青少年教育施設におけるボランティア活動」
	15:00 閉講式「別れのつどい」・解散

8 事業運営上の配慮

- 高校生が多い参加者の構成等を踏まえ、事前に講師と講義・実習内容の打合せを行った。
- ガイダンス時に事業目的を明確にし、まとめ時に参加者間で感想を意見交換できるよう配慮した。

9 参加者の感想

- 必要な考え方や行動について深く学ぶことができました。今後、活動しながらしっかり育みたいです。
- 自然体験活動は体験が大切だと思っていたら、体験を通しての学びが大切だと分かりました。

10 成果

- 外部講師の専門的な講義、経験談に対して満足度が高く、申込時は検討中だった10人も含めて、17人のボランティア登録の希望があった。

